



京都大学技術士会 10 周年にあたって

京都大学技術士会 会長
京都大学名誉教授



大津 宏康

京都大学技術士会創立 10 周年を迎えるに当たり、まずは本技術士会の立ち上げから今日に至るまでの活動にご尽力いただきました、前会長の大西有三先生（京都大学名誉教授）をはじめとする多くの関係者の皆様に御礼申し上げます。

2 年前の会長就任の折に、会報において会員数の推移を交通機関利用者数推移のアナロジーとしてとらえ、本技術士会はフェーズ 1（立ち上がり期）からフェーズ 2（安定/定常期）に移行していること、そして次の会員数が再度急増する時期に相当するフェーズ 3 に移行するための方向性を模索する段階にあることをお伝えしました。なお、フェーズ 3 に移行するためには、エポックメイキングな条件変化が必要です。そのため、次の 10 年の活動理念を構築する上で、現在から中長期にわたり到来するであろう社会情勢の変化を的確にとらえることが不可欠であると考えております。

さて、現状の日本は「衰退途上国」であると揶揄されています。こうした中で、先日小林慶一郎氏（慶

応大学教授）が、この衰退要因について新たな知見を提示されている記事を目にしました。すなわち、この経済衰退の要因が 1990 年代および 2000 年代は、それぞれ「不良債権」および「不良債権処理の後遺症」であったのに対して、2010 年代は「人的資本の劣化」であったと分析されています。なお、人的資本とは、人を「コストとして消費するもの」ではなく、人を「企業価値を向上させるために投資して磨くもの」とする考え方です。最近、人への投資という言葉をよく耳にされると思いますが、これは人的資源投資と等価と考えられます。

ここで、人的資源投資の事例としては、様々な事項が挙げられていますが、「従業員の能力開発」がその中核となることは言うまでもありません。昨今 DX、IoT に代表されるデジタル技術の導入が喫緊の課題となる中、技術力の向上を目的としたリカレント教育/リスキリングという社会人の学び直しが注目されているのは、人的資源投資を活性化することに相当すると考えられるでしょう。

このような観点から、今後人口減少が継続する社会環境下で、人的資源投資という概念が普及することは、エポックメイキングな条件変化の一要因になると考えられます。技術士資格の取得および継続教育は社会人の学び直しに対する有効な方策になるでしょうが、そのためには、従来のアプローチとは異なる新たなフレーバーが必要となるでしょう。本技術士会が、上記の社会情勢の変化に対してどのように対応すべきかを、会員の皆様と議論した結果新機軸の方策が立案されることを期待しております。

京都大学技術士会 10 年の軌跡

京都大学技術士会
副会長 兼 代表幹事

樋口 義弘



■本会の沿革

京都大学技術士会は、技術士法に規定された技術士資格をもつ京都大学卒業（修了）生および教職員で構成され、会員相互の交流と親睦を図るとともに京都大学の発展に貢献することを目的で、2013 年 1 月に開設に向けての京都大学への相談を開始し、同年 2 月に第 1 回準備打合せ開催、同年 4 月 11 日に京都大学渉外部に設立報告し、同年 4 月 23 日に京都大学同窓会より設立を認可されました。

■会員の状況

本会は京都大学同窓会の中で最大の 819 名の会員（2023 年 5 月 31 日時点）を有しています。

会員の地域分布は図-1 のように、関東が 47%（49%）、近畿が 32%（33%）となっており、登録技術部門の割合は図-2 の通り建設が 46%（45%）、機械が 6%（5%）、総合技術監理は 20%（22%）となっています。（ ）内数値は 2015 年時点での値で両者に大きな変化はありませんが、関東、近畿以外の方の会員が若干増えた一方で、総合技術監理取得者の割合が若干減っています。

■会の運営

本会の運営は、会長、副会長、参与、代表幹事、副代表幹事、幹事、監事の役員で行っており、年 1 回開催される役員総会で全体方針を決定し、年数回開催される幹事会で具体的な活動内容を決定するという形で行っています。（最近メンバーを絞っ

た全体運営会議を開催して幹事の負担軽減に努めています）

幹事は全体運営、企画班、広報班、IT 推進班、関西という役割分担で活動しています。発足当初の 2015 年の幹事数は 33 名、本年度の役員数は 37 名です。ほぼ横ばいの状況です。

高齢化も進んでいますので新規幹事の参加を心よりお待ちしております。

■主な活動

本会では以下のような活動を行っています。

- (1) 京都大学の学生、職員、卒業生に対する技術士資格の取得支援
- (2) 会員の継続研鑽のための講演会、研究会、見学会、交流会の運営
- (3) 京都大学が行なう事業への協力
- (4) 京都大学同窓会の他資格団体、他大学技術士会等との連携による公益事業
- (5) その他本会の目的に沿った事業

その中で、主な活動についてご紹介します。

【講演会】

講演会は会員の継続研鑽を目的に開催しており、年 1 回行う大会時の「特別講演会」と通常の「講演会」があります。講師には京都大学出身でその技術分野に精通され最先端のお話を頂ける方をお願いしております。特別講演会（表-1）は 10 回、講演会（表-2）は 16 回開催されており、新型コロナウイルス感染拡大以降はリモートでの開催やリモートと対面のハイブリッドでの開催も経験し、海外も含めた遠隔地の会員の方へのサービスも可能となりました。今後はこれらのノウハウも活用して開催してまいりますので、奮ってご参加ください。

【「技術士を目指そう」説明会】

「技術士を目指そう」説明会は、京都大学卒業生の技術士資格の取得をサポートすることを目的に 1 次試験、2 次試験の受験を考えている現役学生や社会人を対象に行っています。幹事をはじめとする先輩技術士がそれぞれの専門分野での経験に基づ

いた説明や技術士資格取得の意義など説明するとともに、受講者からの質問や悩み相談などをアットホームな雰囲気の中で行っています。年に 3 回程度開催しており昨年 11 月には 25 回説明会を開催しました。

【その他】

会報の発行や会員交流サロンなども行い、会員の交流や本会の活動の発信を行っています。

■今後について

技術士法第四十七条の二には「**技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。**」とされています。

今後も会員を増やして、色々な技術分野の技術士がおられるという本会の多様性の強みをより高めるとともに、新型コロナにより獲得したりリモートなどの新しいコミュニケーション手法も活用して、技術分野の枠を超えた会員の交流を行い、会員の資質向上に貢献してまいりたいと考えております。

現状、会発足時の目標である 1000 名にはまだ到達しない状況です。皆さまの周りに技術士資格を取得された方、取得済みではあるものの本会に未入会の方がおられれば、会費無料で運営しておりますので、お声がけ頂きますよう宜しくお願い致します。

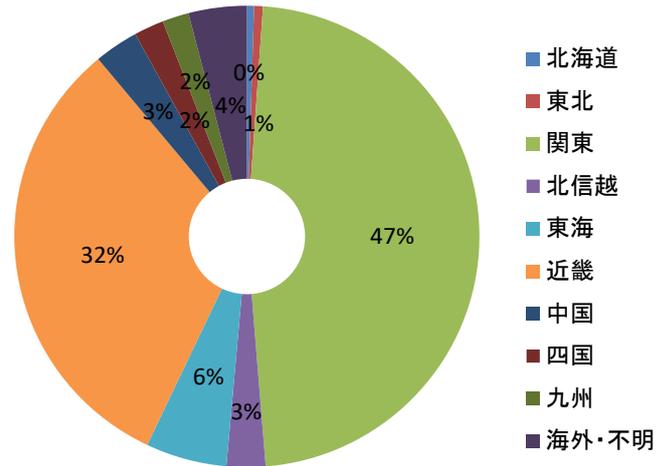


図-1 会員の地域分布

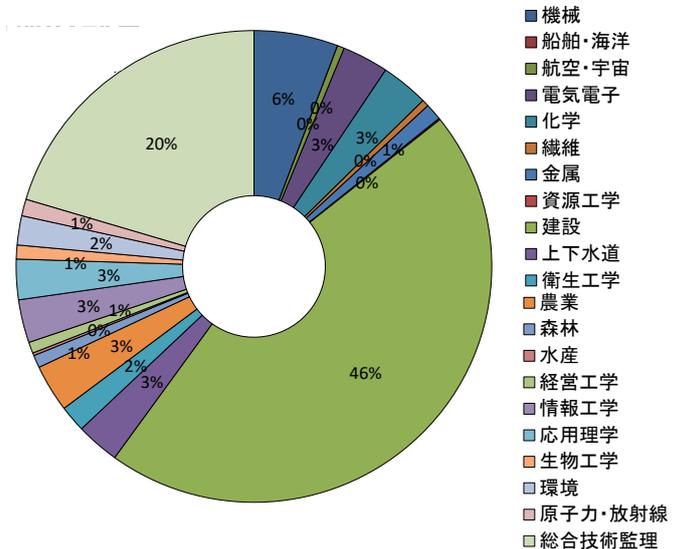


図-2 登録技術部門の割合



2013 年 11 月 2 日 設立記念大会の様様

表-1 特別講演会一覧

日付	講師	タイトル
第 1 回 2013 年 11 月 2 日	淡路敏之 京都大学理事・ 副学長	ビックデータを用いた Ocean View 解析空間 と学際的利用
第 2 回 2014 年 9 月 6 日	平本和夫 日立製作所技師 長	高エネルギー粒子線を用いるがん治療の普及 状況と今後の展開
第 3 回 2015 年 11 月 7 日	中尾功一 タカラバイオ株 式会社代表取締役社長	日本の再生医療等製品関連産業の現状
第 4 回 2016 年 9 月 3 日	坂本修一 文部科学省科学 技術・学術政策局 産業連 携・地域支援課長	今求められる大学イノベーション
	北野正雄 京都大学理事・ 副学長	京都大学の教育改革 特色入試から博士課程 教育プログラムまで
第 5 回 2017 年 11 月 3 日	矢野浩之 京都大学生存圏 研究所教授	木の国ニッポンの資源～セルロースナノファ イバー～
第 6 回 2018 年 9 月 8 日	中川裕康 日本技術士会副 会長	技術士制度の改正について
	大嶋正裕 京都大学工学研 究科長・工学部長	京都大学の工学教育の現状と課題
	藤井聡 京都大学大学院工 学研究科教授	歴史の謎はインフラで解ける～教養としての 土木学～
第 7 回 2019 年 11 月 2 日	大嶋正裕 京都大学工学研 究科長・工学部長	京都大学の工学教育のめざすところ
	石川容平 京都大学生存圏 研究所特任教授・海洋イン バースダム協会会長	宇宙空間を利用した GW 級『マイクロ波電力 伝送システム』と受電装置を一体化した揚水式 『海洋インバースダム構想』
第 8 回 2020 年 11 月 7 日	大嶋正裕 京都大学工学研 究科長・工学部長	超臨界流体に操られ踊らされた研究
	大津宏康 松江工業高等専 門学校校長	気候変動下における高強度降雨に伴う土砂災 害発生メカニズムとその対応策について
第 9 回 2021 年 11 月 6 日	高橋良和 京都大学大学院 工学研究科教授	京都大学創立から続く土木工学の系譜と都市 建設
	榎本哲夫 京都大学工学研 究科長・工学部長	人間中心社会に向けた人と機械、ヒトと AI の 協調
第 10 回 2022 年 9 月 10 日	中北英一 京都大学防災研 究所長	地球温暖化影響と適応 －我が国の風水害を中心に－

表-2 講演会一覧

日付	講師	タイトル
第1回 2014年2月22日	佐々木宜彦 電力土木技術協会会長	我が国における今後のエネルギー政策について
第2回 2014年11月1日	大西有三 前京都大学理事・副学長	福島第一原子力発電所における汚染水処理対策の現状と課題
第3回 2015年2月4日	尾上誠蔵 NTTドコモ取締役常務執行役員	2020年へ向けた第5世代移動通信システムの開発
第4回 2015年4月22日	島田政信 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 地球観測研究センター上席研究員	合成開口レーダ(SAR)による地球環境計測
第5回 2015年9月2日	大石久和 一般財団法人国土技術研究センター国土政策研究所長	インフラ整備をめぐる誤解・曲解・無理解
第6回 2016年7月27日	江尻良 東海旅客鉄道株式会社執行役員管財部長	東海道新幹線の大規模改修工事について
第7回 2016年11月5日	高林純示 京都大学生態学研究センター教授	植物と昆虫の会話を解読する～植物が作り出す生態系情報ネットワーク～
第8回 2017年4月19日	出口茂 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 海洋生命理工学研究開発センター長兼新機能開発研究グループリーダー	深海とイノベーション 海の底に広がる極限世界の謎に迫る！
第9回 2017年9月20日	阪口秀 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 研究担当理事補佐	工学と理学の狭間－我々はどこに向かえば良いのか－
第10回 2018年7月18日	大迫政浩 国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター長	福島を中心にした放射能汚染からの環境再生（～廃棄物や除去土壌の問題を中心に～）
第11回 2018年11月3日	西田豊明 京都大学大学院工学研究科情報学研究科教授	人工知能のもたらしつつあるもの
第12回 2019年11月27日	室野剛隆 鉄道総合技術研究所研究開発推進部 J R 部長	鉄道の耐震設計における危機耐性 －その考え方と取組み－
第13回 2021年8月2日	嶋田善多 電源開発株式会社取締役常務執行役員再生可能エネルギー本部長代理	再生可能エネルギー導入拡大に向けた洋上風力の動向について
第14回 2022年2月17日	家入龍太 建設ITジャーナリスト (株)建設ITワールド代表取締役	人手不足、withコロナのピンチが建設DXを加速する～AI・ロボットとの協働で実現する働き方改革～
第15回 2022年7月29日	春山純一 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所	一緒に月を目指しませんか？
第16回 2022年11月5日	宮沢孝幸 京都大学医生物学研究所准教授	ウイルスとは何か、動物とウイルスとの共進化

京都大学技術士会 新体制について

本会では 2023 年度の運営体制について協議した結果、右の通り決定に至りました。

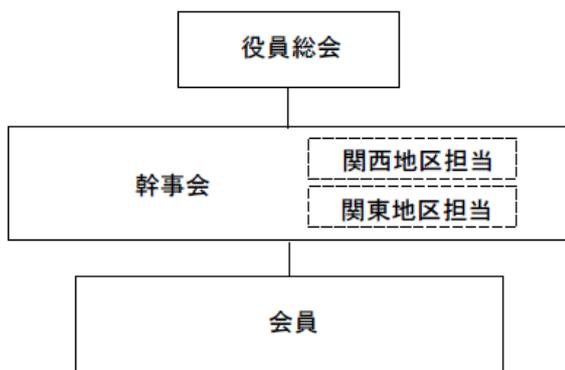
黄色の網掛けで示された方が新任または異動された方です。

副会長には、前任の榎木哲夫氏に代わって 4 月より工学部長に就任された立川康人教授を新たにお迎えいたしました。また、関西担当の副会長兼副代表幹事には佐伯賢一氏を選出し、前任の田岡直規氏は参与に就任いたしました。さらに、関西担当の副代表幹事に岩住知一氏が、同じく副代表幹事補佐には辻浩樹氏がそれぞれ就任されました。

加えて、4 月より会則を改め「準会員でも幹事に就任できる」ことになったため、準会員より福井康仁氏が初めて幹事を務められることになりました。

山崎洋右氏は副代表幹事を退かれましたが、引き続き幹事として本会の運営にご参加いただきます。

会員の皆様におかれましては引き続き本会の運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。



本会の組織機能図

2023年4月から

氏名	担当
大西 有三	名誉顧問
大津 宏康	会長
立川 康人	副会長
高橋 良和	副会長

樋口 義弘	副会長 兼代表幹事	
佐伯 賢一	副会長 兼副代表幹事	
武山 正人	監事	
高宮 脩武	参与	
林 克己	参与	
武藤 光	参与	
石原 吉雄	参与	
綾木 光弘	参与	
田岡 直規	参与	
佐竹 孝	副代表幹事	関東
嶋田 弘僧	副代表幹事	関東
新原 雄二	副代表幹事	関東
今西 秀公	副代表幹事	関東
下村 泰造	副代表幹事	関東
岩住 知一	副代表幹事	関西
宮嶋 直樹	副代表幹事補佐	関西
辻 浩樹	副代表幹事補佐	関西

辻井 修	事務局	関東
新宮 康之	事務局	関東
栗本 卓	幹事	関東
龍原 毅	幹事	関東
近藤 一寿	幹事	関東
川崎 芳樹	幹事	関東
築地 功	幹事	関東
福井 康仁	幹事	関東
山崎 洋右	幹事	関西
大坪 利行	幹事	関西
上田 泰史	幹事	関西
千田 琢	幹事	関西
久保田 正博	幹事	関西
狩野 陽	幹事	関西
有野 剛史	幹事	関西
仲矢 順子	幹事	関西
田邊 陽一	幹事	関西
森下 滋	幹事	関西
中野 信一	幹事	関西
中井 範一	幹事	関西

京都大学技術士会 副会長就任にあたって

京都大学

大学院工学研究科長
・工学部長

立川 康人



京都大学大学院工学研究科・工学部は、工学を「人類の生活に直接・間接に関与する学術分野を担うもの」と定義し、「地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っている」こと、「学問の基礎や原理を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を図る」こと、そして「高度の専門能力と高い倫理性、ならびに豊かな教養と個性を兼ね備えた人材を育成する」ことを理念として掲げています。基礎研究と応用研究の両方を重視し、これまで誰も考えつかなかった「ものづくり」や環境にやさしく災害に強い「まちづくり」を実現する科学技術の発展を図り、持続可能な地球社会を実現する科学技術を創出することが本研究科の目指すところです。

この京大工学での教育・研究の社会実装における延長線上に、「技術士」を位置付けることができると思います。社会の変化が激しく将来の不確実性が高い時代において、技術の社会実装における選択肢の幅はますます広がり、専門家の知識や経験に基づくエキスパート・ジャッジメントの重要性が一層高くなると考えられます。

このとき、活躍が期待されるのが「高等応用能力」、「豊富な実務経験」、そして「高い技術者倫理」を備えた優れた技術者、すなわち「技術士」であることは間違いありません。

京都大学出身の技術士の皆様が分野を超えて集い、分野を超えた交流がより活発となりますよう努力したいと思います。これからよろしく願いいたします。

【立川副会長のご経歴】

1989年3月

京都大学大学院工学研究科修士課程修了

1989年4月

大阪ガス入社

1990年9月

京都大学工学部助手

1996年4月

京都大学防災研究所助教授

2007年4月

京都大学大学院工学研究科准教授

2013年10月

京都大学大学院工学研究科教授

2023年4月

京都大学大学院工学研究科長・工学部長

研究室ウェブサイト

<http://hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp/>



新規会員の自己紹介

山崎 永文



環境部門の自然環境保全分野でこの度技術士登録をしました山崎です。

工学部地球工学科環境コースの出身で、修士での琵琶湖沿岸の自然再生調査研究を経て、現在は環境省の自然系職員という、衛生工学の中では少し変わった経歴になります。業務内容としては、国立公園等での登山道やトイレなどの利用施設、湿原や草原の保全施設の整備事業について、現地での発注業務や本省での予算要求をしてきました。技術士でも数の少ない分野ではありますが、自然共生社会の実現を目標に、公務員技術士として学びを広げつつ、弛まず研鑽して邁進して参ります。諸先輩方にはご指導を賜りますよう、よろしく申し上げます。

【2011 年工学研究科都市環境工学専攻修了、環境部門、環境省】

大山 是



1990 年に電気工学科を卒業しました。その後、鉄道会社に就職し、在来線の信号に関わるメンテナンスや改良工事等の仕事をしてまいりました。その間、グループ会社である鉄道電気メーカーや鉄道電気設備の検査会社への出向を経験し、今年 6 月よりビルメンテナンスの会社に出向しております。

技術士の資格は一次試験こそ 1 回で合格しましたが、二次試験については 6 年間落ち続け、あきらめかけていたのですが、7 回目となる昨年、なんとか合格することができました。

合格はできたものの、技術力はまだまだ不足していると痛感しておりますので、当会の行事に参加させていただき、継続研鑽に努めてまいりたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

【1990 年電気工学科卒業、電気電子部門、(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス】

藤井 創一郎



初めまして。藤井創一郎と申します。

技術士には今年初めて合格しました(森林部門)。

入会のきっかけは、合格者向け案内の中で、こちらの京都大学技術士会を見つけたことです。

このほか、森林部門技術士会にも入会しておりますが、京都大学技術士会を通して森林分野以外でのつながりもできればと思っています。

出身は北海道富良野市です。

高校卒業後、京都では熊野寮で学部生時代を過ごし、その後 1 年間休学してから修士に進みました。休学中はアルバイトでお金を貯めて、半年ほど海外バックパッカー旅行をしておりました。卒業後、(一社)日本森林技術協会に入社し、4 年間経験を積ませていただいてから現在のアジア航測に中途入社しました。

ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

【2016 年農学研究科修了(森林科学専攻)、森林部門(林業・林産)、アジア航測(株)】

福島 大貴

福島大貴（ふくしまだいき）です。2013年に工学研究科の電子工学専攻を修了しました。様々な分野の研究者を応援したいとの思いから分析計測機器のメーカーである島津製作所に入社しました。主な業務は分析装置の組み込みシステムの設計及び評価であり、ユニバーサルデザインを備えた分析システムの開発を目指して日々尽力しています。

社会人10年の節目として技術士を取得しましたので、他業界の技術士の先輩方との交流を通して見識を深めていきます。

学生時代はオープンキャンパス支援／キャンパスツアーガイド／高校生への研究内容紹介等を行っていました。今後は技術士という立場で教育面での貢献が出来ればよいと考えています。

【2013年工学研究科修了、情報工学部門、島津製作所（株）】

立花 嵩

大学院卒業後、高速道路の業務に従事してきましたが、今春技術士資格を取得し少しか「道路の技術者」と胸を張れるようになった？気がします。

今後は技術士として、大学や仕事を通じて得た知見等を社会へ還元できるよう、研鑽を積み重ねていきたいと思っております。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。【2015年工学研究科修了、建設部門、中日本高速道路（株）】

重田（船津） 優子

約25年ぶりに京都に帰って来ることができました。

大学院を出て、農業土木コンサルタント会社で農業用パイプラインの設計に従事し、技術士補（農業）を取得しましたが、結婚退職してしまいました。子育てに軸足を置きながら社会貢献をしたいという気持ちが強くなったため、長女が小学生になるタイミングで塾の先生を始めました。11年間幼児から中学生の先生をしていましたが、次女が中学生になるタイミングで、某建設コンサルタント会社の契約社員となり主に官民連携

（PPP/PFI）業務を担当しました。ここでの経験を基に技術士（建設部門：都市及び地方計画）に合格しました。その技術士資格で、現職である日本都市技術株式会社という建設コンサルタント会社に正社員として転職を果たし、現在は区画整理を中心としたまちづくり業務に携わっています。

これまで様々な分野で多様な経験をしてきましたが、ひとつひとつの経験の点と点がつながって線や面になってきているように感じています。常に進化したいと考えていますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

【1996年農学部卒、1998年農学研究科修了、建設部門、日本都市技術株式会社】





佐藤 慶治

はじめまして、佐藤慶治と申します。

地元宮城で建設コンサルタントとして働いております。

京都大学では 1999 年度からの 2 年間、地質学を勉強しておりました。

その後、IT 企業で FEM 解析をしておりましたが、6 年前、この業界へ転職し、5 回目の二次試験受験でやっと合格できました。

現在は河川関係の業務に携わっており、まだまだ分からないことが多いため、技術士の肩書きがプレッシャーになっています。

今後は得意分野である情報工学部門の技術士取得を目指し、解析関係の業務を開拓していきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

【2001 年理学研究科修了（地球惑星科学専攻）、建設部門、(株) 復建技術コンサルタント】



第 26 回「技術士を目指そう」説明会

第 26 回「技術士を目指そう」説明会が 2023 年 2 月 25 日（土）に開催され、技術士の受験を考えている京都大学の卒業生 3 名が参加しました。本説明会は当会の主要事業の一つである本学の学生、職員、卒業生に対する技術士資格の取得支援を目的に定期的に開催しているものです。受講者、講師全員が Zoom によるオンラインで参加する形式で開催しました。

説明会の第 1 部では、技術士制度と試験制度の説明に続き、築地功氏（工学部土木工学科、1987 年卒、建設部門・総合技術監理部門、当会幹事）と嶋田弘僧氏（工学部情報工学科、1980 年修了、情報工学部門・総合技術監理部門、当会副代表幹事）の各分野で活躍する卒業生技術士 2 名より、それぞれの体験を交えた技術士資格取得のメリットに関する講演を行いました。そして、京都大学技術士会の活動状況についても紹介しました。

また第 2 部として受講者と講師が希望部門別に分かれて部門別相談会を実施しました。

京都大学技術士会
「技術士を目指そう」第26回説明会
プログラム

【第1部】	司会	新原 謙二
15:00~15:05	挨拶	樋口 真弘
15:05~15:10	技術士について	新原 謙二
15:10~15:20	技術士試験制度について	新原 謙二
15:20~15:50	技術士資格取得のメリット	建設部門 築地 功 情報工学部門 嶋田 弘僧 新原 謙二
15:50~15:55	京都大学技術士会について	
	(休憩)	
【第2部】	部門別相談アドバイス	
16:00~16:30	A席：建設部門 B席：情報工学部門	

技術士取得の利点（コンサル勤務）

	コンプライド更新が上限に		総合技術監理部門の技術士が不足	
	保有している	更新に役立った	更新や昇格に役立った	社内での活躍の場にも役立った
技術士(建設部門)	57,771	69.0	46.5	56.3
建設士(土木施工管理技術士)	58,169	39.1	14.5	7.2
防災	39,040	58.0	31.3	20.8
技術士(橋)	30,043	14.0	11.6	9.3
測量	31,739	56.4	20.5	15.4
技術士(総合技術監理部門)	39,339	57.9	26.3	60.5
ソフトウェア技術士	17,121	76.2	20.0	14.3
建設技術士	11,614	79.0	29.8	38.7
建設検定者(技術士)	11,614	64.3	0.0	14.3
技術士(その他の部門)	9,812	81.3	50.0	50.0
ソフトウェア技術士	9,812	33.3	0.0	0.0
建設士(土木施工管理技術士)	8,110	38.0	0.0	10.0

※100% 更新者が更新士の割合によって更新率・昇格率 建設会社によって更新が頻りに発生しやすい

日経コンストラクション 2022.2月 より

オンラインによる説明会の模様

第 27 回「技術士を目指そう」説明会

第 27 回「技術士を目指そう」説明会が 2023 年 4 月 20 日（木）桂キャンパス桂図書館 リサーチ コモンズと Zoom を用いたオンラインの併用で開催され、講師 9 名、技術士の受験を考えている京都大学の学生や卒業生合計 31 名（うち WEB25 名）が参加し、京都大学技術士会副会長で京都大学工学研究科長兼工学部長の立川康人教授（工学研究科 1989 年修了）にもご臨席賜りました。

綾木光弘参与（農学研究科 1978 年修了）の司会進行の下、京都大学技術士会副会長で京都大学工学研究科の高橋良和教授（工学研究科 1996 年修了）の開会挨拶のあと、宮嶋直樹副代表幹事補佐（応用理学部門）による京都大学技術士会の紹介の説明があり、その後、佐伯賢一副会長兼副代表幹事（工学研究科 1994 年修了、建設部門）による技術士制度の概要の説明がありました。

これに続き、千田琢幹事（工学研究科 2000 年修了、機械・総合技術監理部門）、山崎洋右幹事（工学研究科 1983 年修了、機械部門）、仲矢順子幹事（農学研究科 1994 年修了、建設・森林部門）の各分野で活躍する 3 名より、それぞれの体験を交えた技術士資格取得方法や取得後の活動やメリットなどに関する講演を行いました。



会場風景（桂図書館）

また、講師陣から一通りの説明の後、会場及びオンライン上で、講師と参加者が取得希望部門別のセッションに分かれる分科会では、非常に活発な質疑応答が実施されました。

最後に田岡直規参与（工学研究科 1983 年修了、機械部門・総合技術監理部門）から閉会挨拶があり、説明会は閉会されました。

今回も「博士と技術士は車両の両輪」ということを P R し、「1 次試験合格後の準会員としての京都大学技術士会への入会」も呼びかけました。桂図書館では初めての開催となりましたが、受講者の評価も高く、確かな手ごたえを感じました。



高橋副会長による開会あいさつ



宮嶋幹事による本会説明

会員の自由投稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自己紹介を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

《自己紹介 執筆要領》

- ① 標題（概ね10文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に300文字程度）
- ③ 最終行【】内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真（JPEG形式）

《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

会員の皆様へ

1. 入会・登録情報変更方法

[京都大学技術士会ホームページ](#)から必要な情報をお送りください。

最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、[ホームページ](#)からお願いします。

編集後記

今回から編集業務に携わることとなりました。私は、技術士資格を持っていないため、現在は準会員として活動しています。同じ会社の先輩が本会の幹事会に所属しており、後輩の私に会報編集業務を引き継ぎたいと考えているのですが、私が一向に正会員にならないので、なかなか引き継げずにいました。業を煮やした先輩は、準会員でも幹事になれるように会則の変更を働きかけるという荒業に出たのです。おかげさまで準会員ながら会報編集業務の一部を担えるようになりました。

とはいえ、早く正会員にならないといけないかもしれません。第 28 回「技術士を目指そう」説明会に参加し、取得意欲を高めたいと思います。

同じような準会員のみなさま、ともにごがんばっていきましょう。また、準会員としても多くの方の入会をお待ちしております。

（福井 康仁 工学研究科 2000 年修了）

